

## 子どもの意見について

## 1. 主旨

基本構想策定にあたり、子どもの意見を参考にするため、以下の事業を実施したので報告する。

## 2. 区制80周年作文・ポスター募集

区制80周年記念事業とするとともに、基本構想策定の参考とするため、「20年後の世田谷」「私の好きな世田谷」など、世田谷区に現在思っていることや、将来への希望をテーマとし、以下のとおり実施した。

- ①募集期間 平成24年7月～9月7日（金）  
②募集対象 世田谷区内の小学校4、5、6年生及び中学生  
③応募状況

	小学生	中学生	計
作文	23	30	53
ポスター	182	8	190
計	205	38	243

- ④表彰 応募作品を審査のうえ、10月7日開催の区制80周年記念式典において、優秀作品応募者13名を表彰した。  
⑤表彰作品 別紙 優秀作品のとおりに

## 3. テーマ別区民意見交換会「次代を担う子どもの視点ー子どもたちとの意見交換ー」

大人の意見とは異なる子どもならではの問題提起や、これからの世田谷区に望むことについて、世田谷区の次代を担う年齢層である中高生世代と区長が意見交換を行った。

- ①開催日時 平成24年8月21日（火）14時～18時  
②開催場所 区立弦巻児童館 遊戯室  
③参加人数 35名（中学生28名、高校生7名）  
④内容 区民意見交換会の様子（資料1）  
区長と意見交換したいことまとめ（資料2）  
区長と子どもたちの意見交換（資料3）

緑と水の町 世田谷区

玉堤小学校 4年 倉谷 彩音

私は、二十年後の世田谷区が「こうなってほしい」「こうあってほしい」と思っていることは、それほど多くはありません。

ただ強く思っていることが一つあります。それは、私が生まれ育ってきたこの世田谷区が、二十年後も「緑と水の町」であってほしいと言うことです。

二十年後、私は二十九才か三十才になっています。私の夢は「弁護士」になることです。ひょっとしたら、有名な弁護士として活躍しているかもしれませんが、まだ、受験勉強中かもしれません。今住んでいる家に、いるかどうかも分かりません。

別の場所にくらしていても、私は、世田谷区でくらしただけの事を忘れない自信があります。なぜかという、世田谷区が大好きだからです。お父さんとお母さんが結こんで、世田谷区に住むと決めてくれたことにととても感謝しています。

私は、なぜお父さんとお母さんが、世田谷区に住もうと決めたのかを知りたくなり、インタビューをすることにしました。お父さんはいそがしいので、お母さんに聞きました。インタビューなので、まじめに聞きました。

「どうして世田谷区に住もうと決めたのですか。」

「それは、子どもたちが、良い環境で暮らせるようにするためです。」

「良い環境とは、具体的にはどんなところですか。」

するとお母さんは、わらいながら答えました。

「いろいろな考え方がありますが、私たちお父さんとお母さんにとっては、多摩川や等々力けい谷、公園など、緑と水がたくさんあるところです。」

私は、お母さんが答えた場所を頭に浮かべました。

まず多摩川です。家から歩いて二十分ほどの所にあります。ゆったりと流れる水の岸に、たくさん木や草がはえています。静かに流れているときは、反対側の木や草が鏡のように川に反射します。

次に等々力けい谷です。歩いて十分ほどの所です。両方の岸から太い木、細い木がはえていて、高いところで木と木がぶつかり、川におおいかぶさるようにはえていて、天じょうの高いトンネルのようです。夏に散歩すると、ひんやりとしてすずしいです。

友達とよく遊びに行く児童公園には、大きな木が何本もあり、みんなの遊び場所になっています。

三年生のとき、社会科見学で代官屋しき、次太夫ぼり公園に行ったことを思い出しました。ここでも、たくさん木を見ました。

私はお母さんの言葉に、「なるほど」と納得しました。

言われるまでは、考えたこともありませんでした。これほどまでの緑と水にかこまれているとは。

そして、世田谷区が大好きな理由が、はっきりとしました。ぼんやりとしていたものの形が、くっきりとした思いです。

あまりにもたくさんものにかこまれていると、そのありがたさに気がつか

区制80周年記念作文 各学年最優秀作品

なくなるという話は聞いたことがありましたが、自分がそうになっているとは分かりませんでした。

家の二階の部屋に、ね転がってみました。窓からたくさんの木の枝が見えました。起きて窓から首を出して、まわりを見回しました。家をかこむように木が立っていることが分かりました。

私は、お母さんの言った言葉を、私の子どもにも言いたいです。

「お母さんの育った世田谷区は、多摩川や等々力けい谷、公園など、緑と水がたくさんある良いところです。」と。

でも、いつ本当に言えるかわかりませんが。

## 世田谷区から世界へ

玉堤小学校 5年 卓 ありさ

私は五才のころからずっと世田谷区の等々力に住んでいます。

私が小さかったころの等々力は、家の周りに高いマンションがなく今よりもっと自然に囲まれた場所でした。

しかし二年生のある日、家の近くに大きなマンションが建てられることを知りました。

その時私はうれしい気持ちにはなれませんでした。

「高いマンションが建ってしまったら、動物や植物の家はどうなるの。」

「今ごろ動物や植物が泣いているのだろうな。」

いろいろな気持ちで心の中がいっぱいになりました。

「動物や植物たちを助ける方法はないのかな。」

と考えるようになりました。そして将来は生き物を助けられることをしたいと思うようになりました。

私は、セミや様々な鳥が鳴いている等々力溪谷の音や緑の木々が多摩川の風でゆれている世田谷区の景色が大好きです。

しかし、私たちが住みだし楽な生活をするようになって、自然が壊されたり生き物が住みづらくなったりしていることに気づきました。

私たち人間にとって大切なことはゲームや電話など便利な製品を見て「すごい。」

と思うことなく、自然の美しさを知って感動することだと思います。

世田谷区の中には、緑が残っているところがたくさんあります。しかし、今のままではその自然もこの先いつまで残すことができるかわかりません。もしかしたら知らない間に私たちが今以上に自然をこわしてしまっているかもしれません。将来、自然が壊されてしまった世田谷区では、その時代の子どもたちが自然のすごさや美しさを知ることができなくなってしまいます。それはとてももったいないことだと思います。

私はこの夏、パラオという国に行きました。海に囲まれたパラオに行き、自然の美しさを知りました。島を歩くと、パラオの住民の人たちの自然を残したいという気持ちが伝わってきました。私が海で泳いだ時は、魚や海に対してのルールがとてもきびしかったことを覚えています。例えば、魚には人間の食べ物をあたえてはいけない、魚つりを許可されているところが少ない、サンゴをさわってはいけない、海で泳いでゴミを見つけたらすぐに捨てるなどのルールが頭では覚えきれないほどでした。

それでも私は、パラオのように世田谷区の自然や生き物、古ふんなどの文化財も残していき、より美しくして二十年後の子どもたちにも見せてあげたいと思いました。今からでも、世田谷区のみ力を増やしていき、自然や緑や生き物を残していけたらいいなと思います。

また、世田谷に長く住んでいる人からも自然が今よりあった昔の世田谷区について聞いてみたいです。

そして、二十年後の未来へ世田谷区の自然や緑、生き物をのこし、次は世田

## 区制80周年記念作文 各学年最優秀作品

谷区から世界へ自然や緑、生き物をのこす大切さを発信していきたいです。

## 世田谷の温もり

城山小学校 6年 松山 知望

都内でも、世田谷区は面積が広く人口も多い区です。島根県や鳥取県よりも人口が多いという話も聞いたことがあります。しかし、となりの渋谷区とは違って、ネオンが光りかがやくようなところではありません。自然が豊かで緑道は小さな森のようです。体にふれる風は草木のいい香りがして、私に季節の移り変わりを教えてくれます。

私が通っている小学校では、校庭にたくさんの木々を植えようと、ベルマークを集める活動をしています。また、緑道を歩いていると、世田谷区のシンボルのけやきの木がおいしげっていて、夏でもとても涼しいです。学校の屋上から見ると、周りは、緑のじゅうたんをしいたようにきれいでした。

他にも、草花はとてもかわいらしく、春夏秋冬私達を楽しませてくれます。特に私がお気に入りなのは、春にひっそりと花をさかせるスマレです。殺風景の道路に、スマレがさいているのを見た時は、それだけで道が明るくなっている気がしました。

小さいころの思い出の中に、世田谷区の自然で生まれたものがあります。代沢せせらぎ公園で、三才のころグミの実を見知らぬおばあさんに教えてもらいました。その時、初めて木の実の美味しさを知ったのです。食べ物の思いで以外にも、カエルの卵やザリガニを見たり触ったりして楽しかったことがあります。これらの体験を元にして、私はこれからも世田谷区の自然を守る力になりたいです。

世田谷区には、まだまだ良いところがたくさんあります。その一つが地域です。私が、友達と遊んだ帰りに自転車のカギを無くしてしまい、ズルズル引きずりながら歩いている時でした。「だいじょうぶ、いっしょに持って行ってあげようか。」と、やさしく声をかけてくれた女の人がいたのです。最初は平気かなとも思いました。しかし、泣きそうになった目を見てやさしくなだめてくれたのです。他にも、けがをして血が出てしまい困っていたら、バンソウコウをくれました。

世田谷の地域の温もりは、きっと助けてくれたような人のおかげだと思います。この温かさが大好きなので、これからは、恩返しをする気持ちで、私も温もりをつくっていきたいです。

もう一つ地域の中で良いところがあります。それは、「あいさつ」です。商店街を歩いていると、私とその人の顔を知らなくても「こんにちは」と、声をかけてきてくれる人がいます。「どうして知っているのだろう」と考えたのですが、答えは学校にありました。学校に用事がある方々が学校に足を運ぶことがあります。その時、ろう下ですれ違い会しゃくをかわしただけなのに、きちんと顔を覚えていてくれたのです。「あいさつ」とはやはり素敵だなとつくづく思いました。

地域の方との交流で、私は成長できたことがあります。今までは、あいさつといっても私はモジモジしていました。恥ずかしくてなかなか大きな声で「こんにちは」と言えなかったのです。しかし、あいさつをしていくうちに、地域の方の笑顔で勇気づけられ、だんだん恥ずかしいと思う心がなくなってきました。

## 区制80周年記念作文 各学年最優秀作品

今では、あいさつが当たり前のようになり、あいさつをするたびに、胸がスッとします。

人としての礼儀も地域があるからこそできるものだと、あいさつを通してよく分かりました。

世田谷区は、生活をするのにとても快適です。けれども、世田谷区で、取れた物を使って何かをつくるというお店が少ない気がします。もっと世の中に世田谷の良いところをアピールして行ってほしいです。そうすれば、現在より以上に、笑顔でいっぱいの子田谷になると思っています。しかし、今の世田谷区も心を休めることができる最高の場所なので、いつまでも、私は世田谷区が大好きです。

## 20年後の世田谷

千歳中学校 1年 宮下 夕椰

『20年後の世田谷』と言われたら、僕は人口が増加していると予想します。なぜなら、世田谷の人口を平成4年とそれから20年後の平成24年で比べてみると約7万人増加しているからです。1年1年で比べてみると減少している年もあり、昭和62年から平成9年は続けて減少していましたが、人口が減少している年は少ないので、今後も増加していくと思います。

人口が増加したということは、子供がたくさん生まれているというわけではありません。

平成4年と平成24年の高齢者の人口を比べてみると約6万5千人増加しており、世田谷の人口での高齢者の割合で比べてみると約6%増加しています。ということは、20年後の世田谷の高齢者人口は約22万人で、割合は約25%と予想できます。

高齢者が多くなるということは、今の状態では高齢者にとって不便なことが多くなり、いろいろな問題が起こります。

第一に、電車やバスでの優先席が足りなくなるということです。

例えば、電車やバスの優先席、その他の席も全員高齢者が座っていたらゆずってもらえず、立っていても、座っている人はずっと座っていたいから、お互いにゆずり合うことはできません。さらに、優先席だから自分には優先権がある、といっても優先席に座っているのは高齢者だから座ることはできず、ずっと立っていなければなりません。だから、高齢者が増えたら席が足りず、座りたくても座れない高齢者が増えていきます。

第二に、歩道橋などの階段、坂、デコボコ道を高齢者が通る時、歩きにくいということです。

高齢者は、足腰が弱いため階段、坂、デコボコ道を通る時、若い人と比べて大変です。例えば、杖をついている高齢者や車イスの高齢者たちにとっては、とても不便です。杖をついている高齢者が階段を通る時、毎回毎回杖を上を持ち上げなければなりません。車イスの高齢者がデコボコ道を通る時、石塊につまずき、転倒してしまいます。だから、高齢者が増えると階段や坂を歩いて苦勞する人が増えたり、デコボコ道を歩いて転倒してしまう人が増えてしまいます。

第三に、自転車がたくさん通る道を高齢者が通っていると危ないということです。

自転車の事故に高齢者が関わっていることが多いのは、高齢者は若い人より身体能力がおとろえているので、スピードを出している自転車をよけきれなかったり、高齢者が自分で運転して止まれなかったりするからだと思います。だから、高齢者が増えると自転車や車の事故が多くなってしまいます。

このような問題を改善するには、次のようにすればいいと思います。

第一に、電車の車両を一つ増やしたり、高齢者専用の車両を作ったり、バスを大きくして席を増やしたりするのがいいと思います。

第二に、歩道橋などの階段はエスカレーターにしたり、坂にもエスカレーターを設置して、デコボコ道は整備して平らにするのがいいと思います。



## 区制80周年記念作文 各学年最優秀作品

第三に、自転車や車の通り道に高齢者がいつでも通れるように高齢者専用の道を作るのがいいと思います。

このように20年後の世田谷はこれまで以上に高齢者にやさしい街になってほしいです。

20年後、僕はどのような職業についているかわかりません。ですが、僕はサッカーが大好きなのでプロサッカー選手やサッカーに関わる仕事をしてみたいと思います。もし夢が叶ったら、サッカーのスタジアムに安くて試合が見やすい高齢者専用の席を作って、高齢者のためになり、高齢者に元気が出るようなことをしていきます。

## 二十年後の世田谷

梅丘中学校 2年 今井 みはる

私は小さい頃から世田谷に住んでいる。十年以上暮らしているが、私は世田谷が好きだ。

特に私が好きなのは地域交流が盛んな所だ。小学校の時は、地域の方々に運動会を手伝っていただいたり、作成したポスターを商店街に飾っていただいた。

また通学中などに近所の方が声をかけてくださることもある。「いってらっしゃい。」「部活頑張ってるね。」などといわれるととても温かい気持ちになる。だから私は日頃から、感謝の気持ちを込め、自分から挨拶することを心がけている。

穏やかで優しい人がたくさんいる世田谷に問題などないはずだと思っていた。しかし、この世田谷にも少なからず問題点があるようだ。少子高齢化、ごみ問題などの中で私が一番着目したのが緑の減少である。

私が調べたところ、昭和四十八年に、三十三・九パーセントだった緑が近年では二十パーセント程に減少してしまったという。緑というのは木々などの事だ。世田谷区は宅地が六十五パーセントを占めているらしい。

この減少してしまった緑を二〇三二年までに三十三パーセントにする取り組みが、「世田谷みどり33」である。

この取り組みについては学校で何度か聞いたことがあっただけであり知らなかったのだが、苗木を植えたりして少しずつ緑を増やしているらしい。

私は機会あったらすぐにでも参加したいと思った。活動内容に興味があるというのがあるが、なにより緑を守ることがこれからの良い世田谷を守ることにつながるからだ。

木には二酸化炭素を吸収する働き以外にも独特の香りや温もりによって人の心とますます効果があるらしい。木には環境を守るだけでなく、人の心を落ち着かせることもできるという。

これは、まさに私が世田谷の好きな所である、「穏やかで優しい人がたくさんいる」ということにつながってくると思う。

世田谷みどり33の目標は二〇三二年までに世田谷区のみどり率を三十三パーセントにすること。二〇三二年は今から二十年後だ。

二十年後に世田谷はどんな所になっているだろう。少し早い気もするが、それは私達の世代にも責任があるといっても良いだろう。今から世田谷みどり33のような活動を通して環境を守り、かつみんなの心を合わせることができたらきっと二十年後も、更に先も世田谷が良い所であるに違いない。

私が参加できる世田谷のボランティアに積極的に参加したいと思う。また、これを機に親や友達、先生などと少しでもいいから、世田谷の未来について話し合いたいと思う。

## 二十年後の世田谷

千歳中学校 3年 土屋 将吾

私は、世田谷で生まれ育ちもう十五年もの年月を世田谷で生活をしています。幼い時は特に地元という目線で世田谷を見ているわけではありませんでした。でも、成長するにつれて「ここが自分の生まれ育った場所なんだ」という考え方をするようになりました。今では、いつもならばあまり興味を示さないのにニュースや新聞で「世田谷」という文字を見るだけでそのニュースや記事を読んだり読んだりしています。本当だったらどんなニュースか新聞にも興味を持つべきですがやっぱり「地元」というだけで人の興味の持ち方は変わってしまうという事です。でも、二十年後にも世田谷がそんな所であつたらうれしいです。今から二十年後を考えるのは難しいと思います。でも、十年後、二十年後に世田谷が地元として誇れるようにするには、私たちのような若い世田谷区民がそんな世田谷を作っていけるようにする考えが必要です。もちろん、十年後、二十年後にはもう世田谷区民ではない人も多いと思います。私もそうかもしれません。だったら、だれもが世田谷区民でいたいと思えるような愛される世田谷にしていきたいと思います。

私は、世田谷の伝統であるボロ市が二十年後にもあつてほしいと思います。私はボロ市に行った事は数回しかありません。でも、その数回でとても楽しい思いをしています。そして、ボロ市は良き伝統であり多くの人が楽しみにしている行事です。だから、二十年後にもボロ市が開かれていれらうれしいです。

私が想像する二十年後の世田谷は人々によって作られる世田谷です。人々が作り、人々が楽しみ、人々が愛する世田谷です。そして、その人々の中に私がいたら良いと思います。そのためにも、世田谷に良い所をたくさん見つけ愛せるようになりたいと思います。二十年後どうなるかはわかりません。でも、誰からも愛されている世田谷である事を願います。

区政80周年記念ポスター  
小学生の部 最優秀作品

桜丘小学校 6年 阿部幸織



小学4年生の部 優秀作品  
桜丘小学校 4年 阿部 有幸



小学5年生の部 優秀作品  
用賀小学校 5年 飯川 新大





小学校6年生の部 優秀作品  
用賀小学校 6年 林 遼威

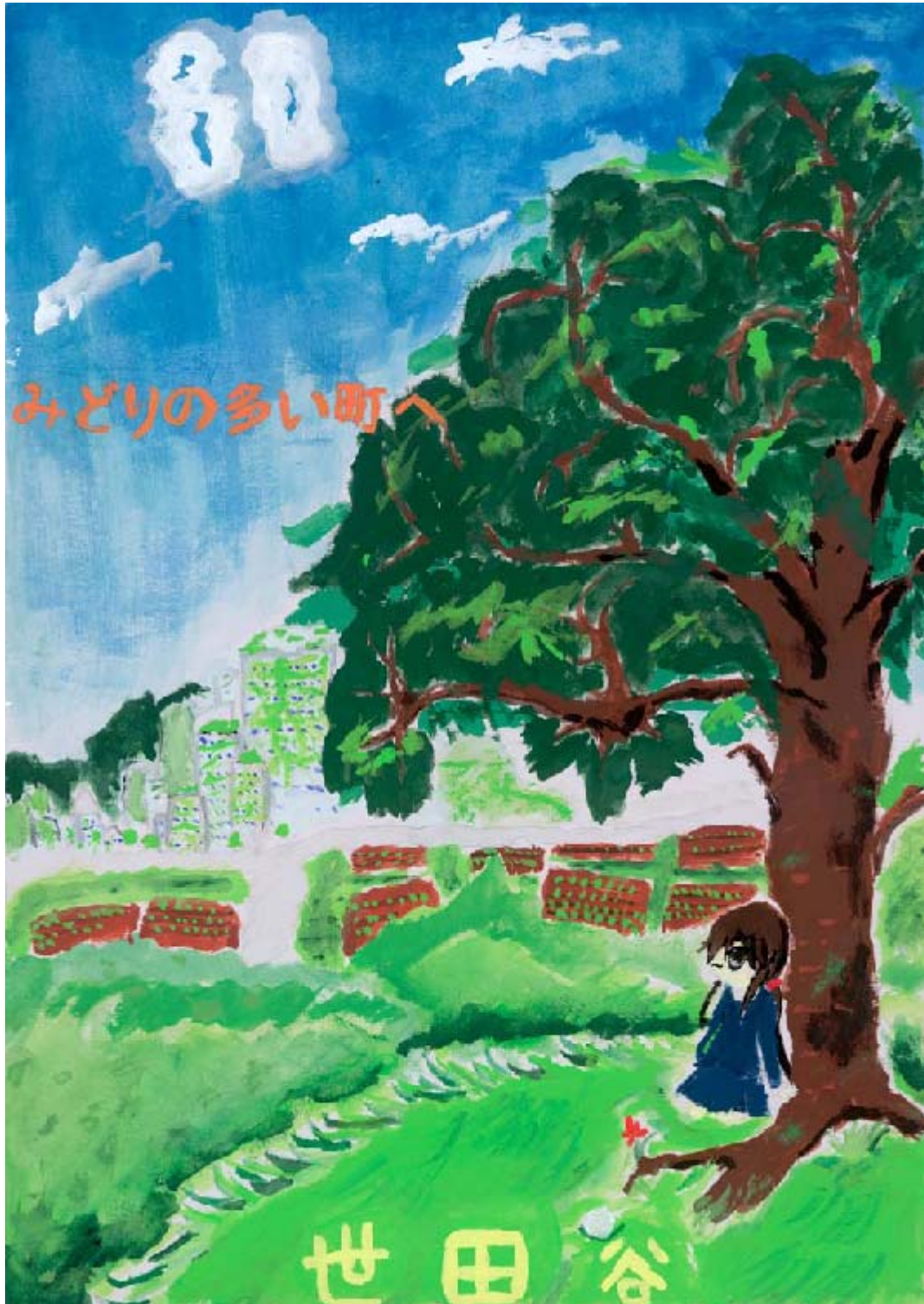


中学生の部 最優秀作品  
砧南中学校 2年 荻田 美穂子





中学1年生の部 優秀作品  
砧南中学校 1年 松居 由鶴羽



中学校2年生の部 優秀作品  
砧南中学校 2年 永井 菜々咲





# 「保坂区長と語る」中高生世代の 区民意見交換会の様子

## <アイスブレイキング>



## <グループワーク>



## <意見交換会>



# 「次代を担う子どもの視点 -子どもたちとの意見交換-」 グループワーク まとめ

資料2

## テーマ1 「今の自分の生活から」思うことは何ですか？

<p><b>&lt;環境&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自然とふれあえる、大切にしたい ・緑が多い</li> <li>・ごみが臭い ・川にごみが捨てられている</li> <li>・分煙ができていない ・ビニール袋の廃止</li> </ul>	<p><b>&lt;学校&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校でも文化祭がしたい</li> <li>・中学校でも自転車通学をOKにしてほしい</li> <li>・日本語授業の充実 ・ゆとりをもどしてほしい</li> <li>・勉強したくない ・先生が厳しい ・先生に問題がある</li> <li>・塾に行かなくても受験できるように</li> <li>・部活を増やしてほしい ・制服をかわいくしてほしい</li> </ul>
<p><b>&lt;公園&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツができる公園がほしい</li> <li>・公園の環境が悪い ・芝生の公園が少ない</li> <li>・花火ができる場所がほしい</li> <li>・プレーパークをもっとつくりたい</li> </ul>	<p><b>&lt;地域&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・商店街をもっと明るく活発に</li> <li>・近隣での関わりがある</li> </ul>
<p><b>&lt;施設&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公共施設やお店が多い ・幼稚園、保育園が少ない</li> <li>・運動施設がほしい ・区民プールが少ない</li> <li>・図書館、児童館にパソコンがほしい</li> <li>・楽しめる場所が少ない ・勉強スペースがほしい</li> <li>・暑さ対策の設備を多くしてほしい</li> </ul>	<p><b>&lt;交流&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いろんな世代の人と話がしたい</li> <li>・子どもと大人と一緒に決めていきたい</li> <li>・意見交換会をもっと多く</li> </ul>
<p><b>&lt;安全・安心&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地震対策を強化してほしい</li> </ul>	<p><b>&lt;世田谷区の特徴&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・世田谷区オンリーのサービスがほしい</li> <li>・世田谷のマスコットキャラクターをつくる</li> <li>・土地が高い ・医療費が中学生まで無料</li> </ul>
<p><b>&lt;交通&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・交通が便利 ・交通が不便 ・放置自転車が邪魔</li> <li>・カーブミラーを増やしてほしい</li> <li>・朝のラッシュがひどい ・電柱を埋めてほしい</li> </ul>	<p><b>&lt;その他&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ユースミーティング世田谷やリーダースクールの宣伝を</li> <li>・楽しい ・平和 ・ひまな時間がほしい</li> <li>・彼氏、彼女がほしい</li> </ul>

## テーマ2 「自分たちが大人になったとき」どうなっていればいいと思いますか

<p><b>&lt;環境&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・路上喫煙ゼロ ・環境をよくする ・町をもっとキレイに</li> <li>・動物とふれあいたい ・緑の豊かさをアピール</li> <li>・温暖化が進んでいないといい</li> </ul>	<p><b>&lt;学校&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・校庭を芝生にするなど学校施設の充実</li> <li>・授業内容等の改善 ・安定した教育を</li> <li>・いじめ、自殺ゼロ</li> </ul>
<p><b>&lt;公園&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公園の遊具を増やす</li> </ul>	<p><b>&lt;社会&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもも尊重されて働ける社会になってほしい</li> <li>・子どもと大人がふれあえる機会が増える</li> <li>・近所つきあいしやすくなってほしい</li> </ul>
<p><b>&lt;施設&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公共施設の増加 ・室内プールを増やしてほしい</li> </ul>	<p><b>&lt;就業・景気&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・20年後に安定した職業を ・就職しやすい</li> <li>・失業してない ・いろいろ安くなっている</li> <li>・中学生からバイトできるように ・時給1万円ぐらいに</li> </ul>
<p><b>&lt;安全・安心&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもが安全に暮らせる町にしてほしい</li> <li>・犯罪が減ってほしい</li> </ul>	<p><b>&lt;世田谷区の特徴&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・世田谷区特有の名物がほしい</li> <li>・日本一〇〇な世田谷区になる</li> <li>・「世田谷マップ」のアプリがほしい</li> <li>・花火大会をやってほしい</li> </ul>
<p><b>&lt;交通&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・世田谷区にもっと縦の交通がある</li> <li>・自転車と歩行者の分離 ・道を広く</li> <li>・カーブミラーの増加</li> </ul>	
<p><b>&lt;その他&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・結婚していきたい ・このままでいい</li> <li>・空を飛ばしたい ・ドラえもんがいてほしい</li> </ul>	

# 「次代を担う子どもの視点 -子どもたちとの意見交換-」 グループワーク まとめ

## テーマ3 区長に提案してください！

### ① 自分たちが出来ること

<b>&lt;環境&gt;</b> ・清掃活動 ・エコ活動 ・節電 ・CO2をへらす努力 ・ポイ捨てしない。している人には注意する ・公園をきれいにする ・花を植える ・地域活性化ゴミ拾いプロジェクト ・歩きタバコやめようプロジェクト	<b>&lt;学校&gt;</b> ・授業でボランティア活動を ・校庭芝生化のため、育つまで外で遊ぶのを我慢する ・いじめ解決 ・勉強する ・読みたい本を集める
<b>&lt;施設&gt;</b> ・廃校舎の再利用を企画	<b>&lt;地域&gt;</b> ・小さい子と遊ぶ ・高齢者とかかわる ・ボランティア ・近所の人と仲良くする ・ホームレスの人にさしいれ
	<b>&lt;施策&gt;</b> ・いろいろな意見を出す

### ② 大人と一緒に出来ること

<b>&lt;環境&gt;</b> ・清掃ボランティア ・木や緑を植える ・子どもに環境問題の呼びかけをする	<b>&lt;学校&gt;</b> ・中学校で文化祭をする ・学校図書館の地域開放 ・いじめの解決 ・教師の問題を大人に相談 ・給食やお弁当の自由 ・部活環境の充実を要望する
<b>&lt;公園&gt;</b> ・キャンプをする ・プレーパークをつくる	<b>&lt;地域&gt;</b> ・お祭り ・伝統の継承 ・地域活動
<b>&lt;施設&gt;</b> ・廃校舎利用の管理	<b>&lt;子どもと大人の交流&gt;</b> ・子どもと大人の交流の機会や場を増やす

### ③ 世田谷区と一緒に出来ること

<b>&lt;環境&gt;</b> ・清掃ボランティア ・路上にゴミ箱設置 ・分煙の推進 ・区全体に環境問題についての呼びかけ	<b>&lt;学校&gt;</b> ・校庭に芝生を植える ・第三者からみた教育者の評価
<b>&lt;環境&gt;</b> ・公園の設備の充実、安全	<b>&lt;地域&gt;</b> ・ボランティア活動 ・ホームレスの支援 ・(お祭りなど)世田谷区以外の区と交流する
<b>&lt;施設&gt;</b> ・公共施設を増やす ・児童館に資金を！ ・室内プールを増やす ・廃校舎の再利用の推進、実施	<b>&lt;就業&gt;</b> ・子どもも自由に働ける仕組みづくり ・バイトに中学生枠をつくってもらう
<b>&lt;施設&gt;</b> ・無料で使える自転車を色々なところに設置 ・縦の交通を増やす ・交通の便を良くする ・駐輪場を増やす	<b>&lt;安全・安心&gt;</b> ・治安を良くする ・街灯を増やす

## 区民意見交換会「次代を担う子どもの視点—子どもたちとの意見交換—」開催結果

○…子どもの意見

◆…区長回答・コメント

### 公園や緑地について

- 区には緑が多いが、自分の身近な所には緑があり休める所が少ないので、木を植え、憩いの場をつくり、もっと緑のある世田谷区のイメージを創っていかれたらと思う。
- ◆ 住宅街に大きな森をつくるのは難しいが、区内には小さなスペースを有効活用して緑化に取り組んでいる方々もいる。  
区では、二子玉川に大きな公園をつくっているところで、20年後に小さな森になるよう9月9日(日)に植樹イベントを行う。中高生も参加できるとよいと思っている。
- 大きな公園には人が沢山いるが、小さい公園には遊具も緑もないところがある。遊んでいる子ども減っているように見える。
- 芝生がある公園や、思い切り遊べる公園が欲しい。
- ◆ ある程度の広さがあり、芝生のある公園が必要ということで受け止める。
- 花火ができる場所が少ない。大型の公園に、花火だけでなくバーベキューもできるような場が併設されていれば、川原を利用した人がごみを捨てるなどの行為も減るのではないか。
- 花火ができる場所でもごみが出るかもしれない。大きい公園などで決まった日に花火ができるなど、イベント的な方法がよいと思う。
- ◆ 昔は、今ほど過密でなく、空き地や道路で花火ができた。多くの人が住むようになった中で、どういふ風な場をつくるか、悩みながら考えてみたい。

### 中高生の居場所について

- 中高生のための施設が少ない。児童館もあるが、「中高生のための」施設ではないため、遠慮してしまう中高生もいる。廃校跡などを利用し、中高生が中高生のための施設をつくりたい。
- ◆ 中高生施設はつくりたいと思っている。区の施設が古くなり建替えの時期を迎えたり、複合施設が建てられることがある。中高生からの声が後押しになるので、ぜひ声をあげ、いろいろな意見を出して欲しい。
- 中高生は、小さい子がいると児童館や公園などでも思い切り遊べない。スポーツができ、涼める場所もある安全な施設があれば、中高生も利用できる。
- ◆ 今夏、区では「クールシェア」という取り組みを行っている。公共施設などで大勢がいつぺんに涼んだ方が、それぞれエアコンを使うより電力を減らせるという考え方だが、これだけ猛暑だと施設が涼しいということも大事だと思う。
- 青年の家は、今まで宿泊行事ができる施設だったが、今年から宿泊ができなくなってしまったことを残念に思う。区内に宿泊できる施設をもっと増やしてほしい。
- ◆ 青年の家は古くなり、今は宿泊を停止している。地域の青少年リーダー活動などで活発に使われてきた話は聞いており、積極的に造っていかねばいけないと思っている。福島県から親子で世田谷区に来てもらった際は、ふじみ荘、大蔵第二運動場の宿泊施設に泊まっていた。青少年会館が一つしかないことと併せて考えていきたい。

## 地域交流・多世代交流について

- 福祉体験で訪問した老人ホームで、職員が、福祉体験や職場体験だけでなくいろんな場面で学生など若い人と交流できる場が欲しいと言っていた。また、職場体験を行った商店街でも、若い人と交流する機会が欲しいという話を聞いた。小学校と中学校も、もっと交流の機会があつていいと思う。交流の場や、地域イベントを増やしたらよいのではないか。
- ◆ 先日、18歳から70代の区民を対象に行ったワークショップでも、20代、30代の方から、どうやって地域活動へ参加したらいいのか戸惑っているという意見があつた。それに対し、地域の人が運営し、様々な世代の人が訪れたりイベントを行ったりしながら交流する、コミュニティカフェというアイデアが出た。防災訓練の時だけでなく、普段からの繋がりが地域の絆が強くなると思うので、そういう施策を進めていきたい。

## 待機児対策について

- 待機児対策に予算を増やすとの発表があつたが、具体的に何をやっているのかわからないのでお聞きしたい。既存の保育園以外の全く新しい預け先の創出という考えはどうか？
- ◆ 区の待機児は、今年過去最高の786人だった。これまで学校や公園の一角など、つくれるところには保育園をつくったがまだ足りず、国の官舎の跡地なども借りて整備している。区に約800ある施設のうち、空いているものを保育園につくり替えることも考えている。古くなった建物も多いが、全部建替えるのは無理なので、修繕し、きれいにして使い続けるという方法も考えている。
- 3歳になる妹がまだ保育園に入れない。親も大変だが妹も友達が欲しいといっている。区内に沢山あるという空き家を利用して欲しい
- ◆ 世田谷区の空き家は推計35000、そのうち一戸建ては6000ぐらいではないかと言われている。中には、区に寄付していただき、地域の方が様々な活動の場に使っているところもある。空き家やマンションの一室でも、家庭的な保育ができる制度があるので、進めていきたい。

## 交通について

- 家の近くにカーブミラーが少なく、自転車を運転していて怖いと思うことがある。カーブミラーを増やして欲しい。
- ◆ 海外には、自転車専用道路を整備するなど、車中心から自転車の街に変わってきている都市があり、自転車を安心して運転できる環境を目指していきたい。同時に歩行者に気遣うようなマナーも必要と思う。

## 防災について

- 首都圏直下型地震があつても大丈夫か？ 家の近くの活断層が危険だということを本で読んだ。ガレキが落ちそうな場所は直してもらえないか。
- ◆ 首都直下地震や東日本大震災のような大きな地震は、何時どこで起きるか分からない。地震を防ぐことは出来ないので、皆で備え、いざ災害にあつてもそこから立ち直ることが重要である。そのためには、地域のコミュニティ形成が非常に大事で、これを進めている。



## 学校生活について

- 中学2年で行う職場体験は、受け入れ先が毎年決まっておき希望の場所に行けない。区からお願いで対象を広げられないか。
- ◆ 持ち帰り、どういう仕組みになっているか検討する。職場体験の幅を広げることができればいいと考える。
- 皆で同じことをしても、私だけが先生に注意されたり呼び出されたりする。話しかけた相手によって先生の態度が違うこともある。先生なのに差別するのはどうかと思う。
- 顧問の先生とけんかをして部活を辞めた人がクラスに何人かいるが、その先生の授業では退部した人がやたらと当てられる。多少の差は仕方がないが、退部にかかわらず平等に見るべきと思う。
- 新たな部を立ち上げようとしたが、顧問が少なくつukれないという話からあきらめたところ、翌年、希望とは別の部が新たにできた。聞いていた理由と一致せず、どうかと思った。
- 運動会の代表リレーでアンカー役を求められるが、それに対し「短距離に出たい」という希望を言ったところ、成績表にまでそのことについてのコメントがあった。
- 各学校、学年によっても先生のムラがあり、合う、合わないがある。区長も加わり先生のことについて話し合う、先生会議をやって欲しい。
- 小学校では、クラブ開設について毎年アンケートが行われ、10人以上の希望があれば顧問をつけるという方法が取られていた。また、現在通う私立校では、生徒が無記名で先生一人一人を評価するアンケートが毎年行われている。公立学校でも採用したらよいと思う。
- 顧問の先生が、「お金をもらっているわけでもないのに、なぜ部活のために休日を使わなければならないのか」という理由で、休日に試合を組みたがらない。顧問の基準などについて区長に決めていただくことはできないか。
- ◆ 区内に区立中学は約30校あり、その一つ一つに「〇〇部の顧問はしっかりやるように」と言って回るのを避けた。学校の中で解決してほしいが、気持ちは分かる。
- 公立中学でも文化祭をやって欲しい。区外の私立中学に通う姉の学校は、大きな文化祭があり、行くと学校のことも分かるし、他校の人との交流もできる。
- 担任の先生の違いにより、授業の質が違い進路も違う。学校が異なれば授業内容に差が出ることもあると思うし、先生やクラスの個性もあると思うが、同じ学校の中では授業の質をそろえて欲しい。
- 日本語の授業は、国語以外の先生がやると内容が薄い。世田谷区ならではの授業なのだから、しっかりとやってほしい。
- 特定の子をひいきしたり、逆につらくあたったりする先生がいる。授業でも、先生が何を言いたいかわからず1コマ無駄になったりすることがある。積み重ねが必要な教科の場合受験にも影響する。辞めて欲しいが生徒からそこまでは言えない。
- ◆ 先生が問題だという意見が多いが、こんなにもいい先生がいるとか、感動しているという逆の意見はないか。
- 担任の先生は、休み時間や放課後には一人の友達のように相談に乗ってくれるし、元気がないだけで「大丈夫」と気遣ってくれる。そういう先生を増やすために、先生への授業を取り入れて欲しい。
- 担任の先生は、行事ごとに手作りのお守りを与える。そういう熱い先生が増えて欲しい。



## いじめについて

- ◆ 新学期はいじめに悩む子がとても苦しむ時期にあたる。「せたがやチャイルドライン いじめ専用電話」の中高生版チラシを配布しているが、いじめについての意見や体験を、チラシのフリーダイヤルにかけて欲しい。それを、世田谷区の子どもの声として集計し、教育委員会と一緒にいじめへの対応を考えていく。どうやっていじめを解決していったらいいのか、なぜいじめの問題が起きるのか、みなさんの意見を聞いてみたい。
- 全ていじめている方が悪いが、いじめる側は相手に直して欲しいところがあるのだと思う。通っている学校にはいじめはなく、いじめられている雰囲気があると先生が本気で止めて収まる。
- いじめられている子に寄り添おうとしても、逆に拒否されることがあり悲しくなる。拒否する態度を放っておけないが、注意すると、それがいじめだと取られてしまったりする。いじめだと思われてしまう現場がどういうものか分かってほしい。
- 相手がいじめだと思ったらいじめだと言われるが、心の強い弱いでも、ショックの受け方は違うと思う。
- アイドルグループのファン同士で、上級生から下級生へのいじめや、ケンカがある。とても恐いので、止めることができない。学校の中の相談センターに言ったが、相談を聞いてくれた先生に「何もできない」と言われた。
- 学校で一番主導権を持つ子の指図によって、友達が部活の中でいじめられ無視されるようになってしまった。別な友人といじめを止めるように話していたら、主導権を持つ子に「お前をいじめるぞ」と言われたことがある。
- いじめは、自分の下につく者がほしいという心が引き起こしてしまうのだと思うので、その子が一番の主導権を握るまでにどうにかしないといけない。加害者の気持ちも被害者と同様に考えなければならぬと思う。

## 区長まとめ

- ◆ 前半、区政全般の話では、大人の会と変わらないテーマが半分以上出た。皆さんからいろいろ聞いてとても良かった。もっと時間があれば、いじめの話などでまた異なる意見が出たかもしれない。
- 私は政治家になる前は、子どもの声を聞くジャーナリストだった。芸能雑誌やティーンズ向け雑誌で、ほぼ10年間いじめのことなど子どもの声を聞き、本を何冊か出してきた。本音を言うと、今日は、もっといじめの話を知りたい。是非、9月の「いじめ専用電話」で意見を出して欲しい。みなさんからの声をまとめ、子どもたちがどんなことを訴えているのかよく見たい。
- その上で、皆さんがよければ、もう一度この続きをやりたい。
- 今日は、暑い中ありがとうございました。また会いましょう。

## 区長と区民の意見交換会の報告

## 1 主旨

平成23年度に27か所の出張所・まちづくりセンターにおいて、「保坂区長と語る車座集会」と題し、テーマを特定しない区民からの幅広い意見交換を行う場として開催した。

本年度は、車座集会の実施状況も踏まえ、テーマを特定し、区民と区長がそれぞれのテーマに基づき、より深い意見交換を行う場として、5月より実施しており、これまでの開催結果について、報告する。

## 2 開催結果概要

テーマ・開催日等	内容等	担当所管部
「地域行政について」 平成24年5月26日(土) 午後2時～4時40分 区役所第3庁舎3階 ブライツホール	<p>少子高齢化の進展や社会経済状況の変容の加速、昨年の東日本大震災以降の防災の観点からの地域力の重要性の高まりなど、地域を取り巻く状況が急激に変化する状況を踏まえて、区行政の基本的な考え方である「地域行政」について意見交換を行う。</p> <p>【内 容】①出張所・まちづくりセンターの窓口の仕事について ②地区における防災のあり方と出張所・まちづくりセンターの役割について ③地域に身近な総合支所のあり方について</p> <p>【参加者】26名(申込者32名、欠席6名)</p>	総合支所 政策経営部
「地域で子どもを育てる」 平成24年6月2日(土) 午前10時～12時30分 教育センター ぎんが	<p>世田谷の未来を担う子どもたちを地域社会で守り育てていくために、子ども施策や教育施策について意見交換を行う。</p> <p>【内 容】①子ども施策について ・保育サービス ・児童館 等 ②教育施策について ・世田谷9年教育 ・学校運営 等</p> <p>【参加者】27名(申込者30名、欠席3名)</p>	子ども部 教育委員会 事務局

テーマ・開催日等	内容等	担当所管部
<p>「地域の魅力・再発見（住まう・暮らす・楽しむ・余暇～観光）について」</p> <p>平成 24 年 7 月 31 日（火） 午後 6 時 30 分～9 時 世田谷産業プラザ</p>	<p>自分たちが住むまちの「地域資源」を活かしたコミュニティ活動の活性化や、ビジネスの創出、「まちなか観光」の今後について期待することや、世田谷区内での推進のあり方について意見交換を行う。</p> <p>【内 容】①観光事業について ②商店街関係について ③まちづくり等について</p> <p>【参加者】63 名（申込者 70 名、欠席 7 名）</p>	産業政策部
<p>「次代を担う子どもの視点 ―子どもたちとの意見交換―」</p> <p>平成 24 年 8 月 21 日（火） 午後 2 時～6 時 弦巻児童館遊戯室</p>	<p>大人の意見とは異なるであろう、子どもならではの問題提起や、これからの世田谷区に望むことについて、世田谷区の次代を担う年齢層である中高校生世代を対象に、子どもの視点で意見交換を行う。</p> <p>【内 容】①中高生の居場所について ②学校生活について 等</p> <p>【参加者】35 名（申込者 39 名、欠席 4 名） ※中学生 28 名、高校生 7 名</p>	子ども部 教育委員会 事務局

※開催結果の概要については、区ホームページにて公表している。（別紙参照）  
なお、「次代を担う子どもの視点」については、資料 6 に添付している。

### 3 今後の開催予定

- 平成 24 年 11 月 2 日（金） 就労支援 就職って何？Ⅱ  
（働く・生きる～若者）について
- 11 月 3 日（土） 地域における区民の健康づくり  
区民との協働による健康づくり活動について
- 11 月 10 日（土） 「世田谷みどり 33」の推進  
都市農地の保全について
- 12 月 8 日（土） 誰もが安心して暮らし続けられるために、  
私たちができること

## 区民アンケートの実施について

## 1. 主旨

新たな基本構想の策定にあたって、より多くの区民の意見を聴くため、区民アンケートを実施し、基本構想審議会での議論の参考とする。

## 2. 概要

実施期間 平成24年11月15日～12月5日

実施方法 ・区のおしらせ「せたがや」基本構想特集号、区ホームページで周知する。

※区のおしらせ掲載内容（11月15日発行予定）

基本構想審議会部会の議論から主な意見の紹介、区民ワークショップの議論から主な提案の紹介、区民意見提案・発表会の開催について（提案者募集）、区民アンケートなど（4頁予定）

・アンケートの回答、性別、年齢、世田谷区在住年数を明記し、ハガキ、封書、持参、ファクシミリまたは区ホームページにより提出いただく。

結果公表 平成25年2月予定

## 3. 設問案

問1 基本構想審議会の議論で挙げられた世田谷区の将来目標のそれぞれについて、どの程度共感できるか、お答えください。

世田谷区の目指すべき姿	一つ選択して○を付ける
(1) 地域でのつながりの強化	大いに共感できる ・ 少し共感できる あまり共感できない ・ 共感できない
(2) 行政と区民・事業者の役割の見直し (行政、事業者、区民の新たなパートナーシップの構築)	大いに共感できる ・ 少し共感できる あまり共感できない ・ 共感できない
(3) 防災（減災）コミュニティ都市世田谷の構築	大いに共感できる ・ 少し共感できる あまり共感できない ・ 共感できない
(4) 環境への負荷軽減をめざす	大いに共感できる ・ 少し共感できる あまり共感できない ・ 共感できない
(5) 魅力的で活気にあふれるまちをつくる	大いに共感できる ・ 少し共感できる あまり共感できない ・ 共感できない
(6) あらゆる人が地域で自分らしく暮らし続ける	大いに共感できる ・ 少し共感できる あまり共感できない ・ 共感できない
(7) 地域で担い手を育てる (地域の課題を解決するための担い手を地域で育てる)	大いに共感できる ・ 少し共感できる あまり共感できない ・ 共感できない
(8) 地域の中で子どもが育つ	大いに共感できる ・ 少し共感できる あまり共感できない ・ 共感できない

問2 区民ワークショップで提案された「今後 20 年のうちに実現したいこと」のそれぞれについて、どの程度共感できるか、お答えください。

今後 20 年のうちに実現したいこと	一つ選択して○を付ける
(1) 多世代の区民同士が交流し、コミュニティを形成し、誰もが生き生きと暮らせるまち	大いに共感できる ・ 少し共感できる あまり共感できない ・ 共感できない
(2) 交通網が整備され、便利で、車、自転車、歩行者が安全に移動できるまち	大いに共感できる ・ 少し共感できる あまり共感できない ・ 共感できない
(3) 自然や文化、伝統、産業、農業、閑静な住宅地といった世田谷ブランドが維持、発展したまち	大いに共感できる ・ 少し共感できる あまり共感できない ・ 共感できない
(4) 堅実な区財政のもと、区民が区政に参画し、ともにまちづくりを進めるまち	大いに共感できる ・ 少し共感できる あまり共感できない ・ 共感できない
(5) 電信柱がないなど景観が保全され、自然・文化遺産が保全されたまち	大いに共感できる ・ 少し共感できる あまり共感できない ・ 共感できない

問3 新たな基本構想の策定に向けてご意見をお寄せください。

(問1、問2の将来目標を選んだ理由、ご自身が考える世田谷区の将来目標等、ご自由にお書きください。)

